

## 第12回平和祈念事業アドバイザーボード議事要旨

1 日 時：平成25年12月13日（金）14：00～16：30

2 場 所：農林水産省 三番町共用会議所 第3会議室  
千代田区九段南2-1-5

3 出席者：（委員）

◎ 亀井 昭宏（早稲田大学名誉教授）

○ 杉浦 力（財団法人能率増進研究開発センター理事長）

黒沢 文貴（東京女子大学現代教養学部国際社会学科国際関係専攻教授）

田久保忠衛（杏林大学名誉教授）

堀川 末子（弁護士）

水嶋 英治（筑波大学図書館情報メディア系教授）

[敬称略、◎は座長、○は座長代理]

（総務省）

田家 修 官房審議官

加瀬 徳幸 管理室長

4 議事次第

（1）企画競争提案の審査について

（2）プレゼンテーション等の実施について

5 議事要旨

（1）企画競争提案の審査についての説明

平成26年度の平和祈念展示資料館運営の企画提案にかかる審査方法及びプレゼンテーション等の実施方法について、事務局より説明が行われた。

（2）プレゼンテーション等の実施についての説明

企画提案書について、応募者より説明後、質疑応答が行われた。

委員の主な発言等は以下のとおり。

○ 展示内容については、歴史に関わるため、バランスが重要である。今後も配慮しながら進めてもらいたい。

- 資料の修復や複製等の処置を発注したものについては、きちんとした技術で処理がなされているのか、何らかの基準等を設けてチェックできるとよい。
- 目録作成のための有識者委員会をはじめ、館内外の各種業務を仕切るため、館長にはマネジメント能力の高い人が必要である。
- 目視での来館者調査以外に、何かしていることはあるのか。若い世代に向けての取り組みをさらに意識してもらいたい。

〔 本議事要旨は、総務省大臣官房総務課管理室において作成した。  
速報版であり、今後、修正する場合がある。 〕